

自立活動だより No. 2

中学部の手話学習

1学期のことになりますが、中学部の自立活動として、初めて「手話学習」の取り組みを行いました。1回目は、生徒たちに「手話と日本語」の違いを学習するという内容で、パワーポイントを使いわかりやすく説明した上で、生徒同士にロールプレイで実際の場面を演じてみてもらいました。自分の手話の使い方を振り返ってみる機会になったと思います。

2回目は、「大学生に手話を教えよう」ということで、介護体験に来た大学生たちに、各クラスごとに生徒たちがどんな方法で教えるかや、進め方、役割分担などを話し合い、準備をした上で行いました。教える手話の内容は、自己紹介で使う言葉（氏名、大学名、出身地、趣味など）、色、数、天気、曜日、時間など。クラス全体で教えるテーマの担当を決めて行うクラス、グループごとに教える人を決めて行うクラスなど、生徒たちはそれぞれに工夫を凝らしながら手話を教えていました。生徒たちの様子はというと、どの生徒もとても生き生きと楽しそうに教えていたのが印象的でした。

健聴の人たちに手話を教える経験を



通して、あらためて手話の意味や使い方を知ってもらうきっかけになれば、ということが一番の目的で行いましたが、その目的はほぼ達成できたかなと思います。健聴の人たちに、自分の伝えたいことを、正しく伝える工夫や

努力をこれからも積み重ねて欲しいと思っています。

「手話学習」は、2学期は「トークタイム」に向けての手話の確認を、3学期は1年間のまとめを行う予定です。さらに充実した学習になればと思っています。